

JR西日本の新入社員に 組合の宣伝行動を開催！



国労西日本

国労西日本本部

NO. 405

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本 検索



TUNAG

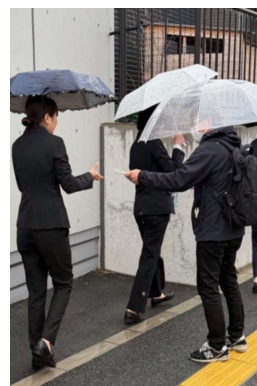
TUNAGを利用中
組合員の皆さん登録しよう
登録は西日本本部または地方本部へ

吹田研修センター前で

労働組合宣伝行動を開催

労働組合は「国労へ」

4月1日、JR西日本グループの入社式とJR西日本の入社式がそれぞれ大和大学のアリーナにて開催されました。



入社式に伴い、大和大学のアリーナからJR西日本の研修センターへ移動する間で労働組合宣伝を行いました。当日は雨が降る中で傘をさしながらの宣伝行動となりました。大和大学から出てくる新入社員に対して、ティッシュなどの配布やボードを掲げ、「入社おめでとう」「労働組合の加入は自由です」「国労に入ろう」「職場で待ってるよ」等の声掛けを行いました。



配布物の受け取りも良く、ボードなども見てくれた新入社員が多数いました。声掛けに対しても「ありがとうございます」「国労があるんですね」「国労というのか、調べてみようかな」等の関心を持つ新入社員もいました。現地には近畿地方本部をはじめ北陸地方本部や岡山地方本部からも駆けつけ、宣伝行動を行いました。

職場でお待ちしています！！



私たちは国鉄労働組合「国労」です！

労働組合の必要性を理解しよう！ 労働条件の改善に向けて声をあげよう！

またまた近畿地方本部で国労に加入！

4月21日、またまた近畿地方本部において私たちの仲間になりたいと、国労に加入をしていただきました。

加入してくれた方は「この間、未組織労働者として働き、労働運動の重要性を肌身感じてきました。闘い無くして安全も労働条件も守れませんが。微力ながら頑張ります。」と決意していただきました。



行動をすることが大事です

皆さんは「知らず知らず労働組合に加入していった」「言われるがままに加入した」「無駄だと思いつつも組合費を払っている」「面倒くさい」など考えていませんか。

私たちは労働者一人ひとりが主人公の労働組合をめざしています。労働者には多くの要求があり、その要求をみんなで考え、みんなで勝ち取るために行動することが大切です。賃金要求、労働条件要求、安全問題をはじめとして、それぞれの職場での要求や平和問題など生活する中で「何とかしたい」ということを仲間と共に解決していくために行動しています。

私たち国労はあなたと一緒に闘い、あなたと共に労働条件の改善や生活改善をめざします。もう一度しっかりと考えてみてください。

力を合わせて!!



国労近畿地方本部は、労働者の為に声をあげています！！

柘植乗務員宿泊所 清掃・浴槽撤去問題 現場の声を無視した愚策にNOを！

今、柘植で何が起きているのか

会社は今年、乗務員による宿泊所清掃の強行実施と浴室の浴槽撤去（シャワーのみ）を行いました。しかし、この施策には多くの疑問と矛盾があり、現場の不安と負担が急増しています。

労働協約との矛盾

昨年の協約改訂で「平均労働時間7時間10分を超えてもその他業務（清掃・のれん付け等）が可能」とされましたが、国労とのやり取りで「その他業務が増えても平均労働時間は延びない」と明言。しかし実際には昨年より平均労働時間が伸びています！協約違反の疑いが濃厚と指摘すると会社は回答不能になりました。また、すべての労働組合が反対すれば、施策は延期または中止すると会社は回答。国労・JR西労・建交労は反対しています。

浴槽撤去は重大な問題

- ① 労働契約法第5条 安全配慮義務違反の疑い 熱中症予防に入浴は有効（第三者機関の見解） 入眠効果があり疲労回復に不可欠
- ② 労働条件の不利益変更の恐れ 長年維持されてきた浴槽を一時的に撤去 寝室個室化は歓迎でも、浴槽撤去は誰も求めている
- ③ ES（従業員満足）施策としての矛盾 「ES向上」と言いながら疲労回復手段を奪う不整合

清掃負担の偏りと現場の悲鳴

・女性社員に清掃行路が偏る
・運転士・車掌間の頻度差も不透明

【現場の声】

「家庭レベルと言われても曖昧で時間が足りない」
「浴室の壁面を毎回洗剤で洗う必要があるのか」
「ガウン着用でもスポンが濡れる」
「シート交換で腰痛が出そう」
軽作業とは言えない実態があります。

準備不足のまま強行された施策

昨年の中止から1年あったにもかかわらず、代替案の検討なし・行き当たりばったりの実施です。
本来検討できた案
○内勤も清掃に参加（添乗→柘植で清掃・リモート併用）
○日勤行路に組み込む・他の負担分散策
選択肢はいくらでもあったはずですが。

職場の分断を生む愚策

職場は人生の半分を過ごす場所。今回の施策は現場の声を無視し、社員同士の分断と不信感を生むだけです。

◆国労は現場の声を守ります。

今回の問題は感情論ではなく、第三者機関の見解・労働協約・安全配慮義務に基づく正当な指摘です。困ったこと、不安なことがあればお近くの国労組合員へご相談ください。より良い職場環境を共に作りましょう。

2026年 4月

国鉄労働組合近畿地方本部

大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館内

TEL 06-6354-0700

メールアドレス nru.kinki-06@lagoon.ocn.ne.jp